

平成 26 年度 日本体操協会全国代表者会議（平成 27 年 2 月 8 日） 報告

以下の報告が文書でありました。

☆ 全日本選手権、世界大会代表選手選考会に出場する監督・コーチの 1 種審判研修会・講習会受講について

採点規則では、監督、コーチの義務として、採点規則や競技規則を熟知していることが定められています。そのためには、監督、コーチの皆様が、審判講習会や研修会を受講して、最新の情報を理解されることが大切になります。国内では、1 種審判研修会において大陸間講習会からの情報が最初に伝達されます。特に採点規則改訂期に、いち早く新情報を入手し共通理解を深めることは選手育成において極めて重要になります。

体操男子・女子、新体操女子、トランポリンにおいて、2017 年度（平成 29 年度）からの全日本選手権、世界大会代表選手選考会でアリーナに入る監督、コーチは 2016 年度（平成 28 年度）に開催される、1 種審判義務研修会または 1 種審判認定講習会受講が原則的に必要になります。そのため、現在審判資格のない方は 3 種、2 種審判資格を取得して、1 種審判義務研修会または 1 種審判認定講習会を受講する準備が必要になります。特別な場合は 2、3 種資格でも 1 種審判義務研修会の受講を認め受講証を発行します。

※年次推移

2014 年度 → 3、2 種審判資格取得

2015 年度 → 2、1 種審判資格取得

2016 年度 → 1 種審判義務研修会または認定講習会受講（受講証発行）

特例として、2、3 種資格でも 1 種審判義務研修会の受講を認める。

2017 年度 → 全日本選手権、世界大会代表選手選考会において **受講証が必要**

2018 年度 → 1 種審判資格取得

2019 年度 → 全日本選手権、世界大会代表選手選考会において **「原則として」**

1 種審判資格が必要

以上のように文書で報告された。

全国の各都道府県理事長から様々な質問、意見がだされた結果、以下のように渡辺専務理事がまとめた。

「2016 年度」までの内容を認め、「2017 年度以降」の内容については、本会議に出された様々な意見を考慮し、今後検討する。となりました。

以上、報告します。

平成 27 年 2 月 9 日（月）

神奈川県体操協会 理事長 本間幸一